



かけはし

ベトナムでの口唇口蓋裂無償手術活動

大分大学医学部附属病院は歯科口腔外科、麻酔科、看護部が医療チームを組んで、毎年12月にベトナムのベンチェで口唇口蓋裂患者の無償手術を行っています。ベンチェはホーチミンから車で約2時間の場所に位置する中規模の町です。この活動は日本口唇口蓋裂協会（名古屋市）の国際医療活動のひとつで、全国の他の大学附属病院からも医療チームが参加します。本院は平成14年からほぼ毎年この活動に参加しており、昨年12月で11回目を数えました。

今回の活動では全国から46名の医師、歯科医師、看護師らが参加し、6チームに分かれて、平成25年12月23日から27日のまでの5日間に48症例の口唇口蓋裂手術が行われました。大分チームのメンバーは歯科口腔外科医3名、麻酔科医1名、看護師1名、医学部学生3名で、12症例の手術を担当しました。

この活動に対するベトナムでの評価は高く、今回の滞在最終日にベトナム政府から『ベンチェでの医療貢献に対する表彰状』をいただきました。毎年多く患者が手術を希望して、私どもが現地に赴くのを待っています。本院は今後もこの活動を継続していく予定です。



手術を希望して集まった患者家族



医学部学生といっしょに手術の準備を行う大分チームの看護師(右)



大分チームの手術風景



最終日に病棟前で患者家族と一緒に記念撮影

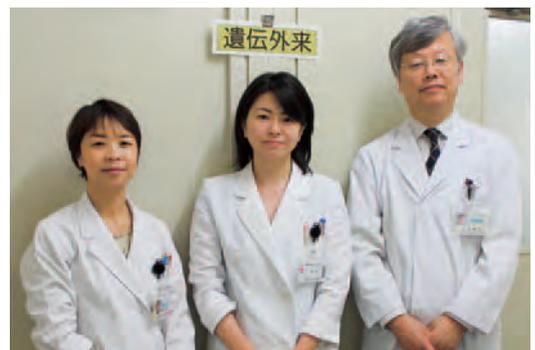
遺伝子診療室

遺伝学と聞くと、難しいと感じる方が多いと思いますが、私たちの体におきる病気はけがを除いてほとんどすべてその発症に遺伝子が関与していると考えられます。これからの医療は遺伝学を知らずして携わることはできないと言ってもいいほどです。例えば、高血圧や糖尿病、心筋梗塞などの生活習慣病は一見遺伝学とは関係ないもののように思えますが、遺伝子変異を診断して発症前に生活改善などを行うことで予防することができるかもしれないのです。遺伝医療はより身近なものになりつつあります。

本院では、平成25年4月から遺伝外来を開設、平成26年2月からは遺伝子診療室が発足しました。遺伝外来では、遺伝性疾患や染色体異常症、高齢妊娠などで詳しい相談や説明を希望される方などの相談に応じます。

ゆっくりとしたカウンセリングを行っておりますので、あらかじめ予約をとっていただきます。診療は自費診療です。詳細は本院ホームページでご確認ください。

遺伝外来(遺伝カウンセリング)			
診療場所	大分大学医学部附属病院 外来棟 2階 臨床薬理外来		
診療日 毎週(火・木・金)	火曜日	12:30~14:00	完全予約制
	木曜日	10:00~11:30	完全予約制
	金曜日	14:30~16:00	完全予約制
担当医	濱口 和之 川野由紀枝 阿部 若菜		
料 金	保険外診療(自費診療)となります。 1回5,000円(税抜)です。		
連絡先	大分大学医学部附属病院遺伝子診療室 遺伝外来(遺伝カウンセリング) 完全予約制です。 なお、予約は産婦人科外来で行います。 TEL 097-586-6920 (産婦人科外来直通) 電話受付は、月~金曜日の13時~15時です。		



(文責：遺伝子診療室 川野由紀枝)

八方塾(大学病院市民公開講座)のご案内

年に3~4回を目途に、大分大学医学部附属病院内で、八方塾と称し、市民公開講座を開催します。医療全般について、わかりやすく医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士などが、話をいたします。

第1回目は、平成26年6月4日(水)に開催され、「皮膚病の治し方」をテーマに二人の医師と一人の看護師が話をしました。40人の市民の方が聴きに来られ、質問も活発になされました。下はその時の写真です。次回は平成26年9月10日に下記の内容で開催します。無料ですので皆様お気軽にご参加ください。



「睡眠中に呼吸が止まっていますか？」

講 師 循環器内科 臨床検査診断学講座 田村 彰

ひどいいびきだけでなく、睡眠中に呼吸が止まっていると言われたことはありませんか？もし、ある場合は、最近マスメディアでもよく取り上げられている“睡眠時無呼吸症候群”という病気が考えられます。

睡眠時無呼吸症候群は、以下の様な社会的・医学的悪影響をもたらします。第一に、激しいいびきによりベッドパートナーや旅行などの際に同室者に迷惑がられます。第二に、日中の眠気により、日常生活や仕事に支障をきたしたり、交通事故などの事故に繋がる場合があります。第三に、生活習慣病や様々な心血管系の病気と関連することがわかってきました。

本講演では、睡眠時無呼吸症候群の原因、症状、検査、合併しやすい病気、治療をわかりやすく解説したいと思います。

睡眠時無呼吸でお困りの方、睡眠時無呼吸が疑われる方、ひどいいびきのある方、是非ご聴講ください。

日 時：平成26年9月10日(水) 18:00~19:00

場 所：大分大学医学部附属病院、玄関ホール
〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1-1

問い合わせ先：大分大学医学部医事課 患者サービス係
☎097-586-5430 (平日9:00-17:00)

駐車場は、医学部附属病院の外来駐車場をご利用ください。
当日無料チケットを配布します。

ただし台風などで公共の交通機関が止まった場合は、また日を改めて実施いたします。

(文責：サービス推進委員会 藤原 作平)

シリーズ 病院再整備

【薬剤部、CTUの移転】

病院再整備に伴い次のとおり場所が移転しましたのでお知らせします。

【薬剤部】

平成26年5月7日から中央廊下の突き当たりに移転しました。

なお、院外処方箋FAXコーナーの場所は、従来どおり外来ホールで変更ありません。

【CTU（クリニカルトライアルユニット）】

平成26年5月14日から中央診療棟4階（旧分娩部）に移転しました。

CTUとは、総合臨床研究センターのクリニカルトライアル部門で、早期臨床試験専用の施設です。



薬剤部 お薬窓口



CTU入り口

(文責：病院再整備推進室)

シリーズ サービス向上への取組み

外来における検査結果の報告時間についてご説明いたします。

報告時間とは、血液、尿等の検体が検査室に到着してから医師に報告がなされるまでの平均時間のことを言います。報告時間の短縮は患者さんの待ち時間の短縮にもつながります。検査部では、報告時間の短縮を最重要課題のひとつとして業務に取り組んでいます。表1に代表的な検査項目の報告時間をお示しいたします。尚、異常な高値・低値が検出された場合は、確認検査のため平均の倍の時間がかかります。

外来予約患者さんにおかれましては、この報告時間をご理解いただきますよう、宜しくお願い致します。

表1. 検査結果報告時間(平均時間)

	検査項目(項目例)	報告時間(分)
1	血液検査 (赤血球数・白血球数等)	8
2	尿検査 (定性・沈渣)	24
3	凝固検査 (PT・APTT)	26
4	生化学検査 (肝機能・腎機能・脂質等)	40
5	ホルモン・腫瘍マーカー (インスリン・AFP)	67

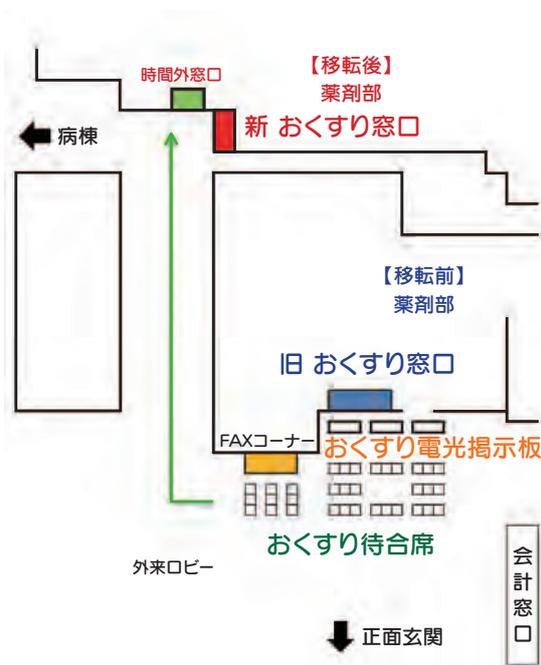


【血液検査装置】
赤血球・白血球の検査をする装置です

(文責：検査部 宮子 博)

薬剤部移転に伴うおくすり窓口の変更について

薬剤部の移転に伴い、平成26年5月7日（水）より、おくすり窓口の場所が変更となりました。おくすり電光掲示板に番号が表示されましたら、ご不便をおかけしますが、新おくすり窓口までお越しください。なお、時間外のおくすりの受け取りは時間外窓口までお越しください。



図：新薬剤部のおくすり窓口について



おくすり窓口



時間外窓口

(文責：薬剤部 佐藤 雄己)

平成25年度 治験貢献賞表彰

より良い薬、つまりよく効いて安全な薬がみんなで作れるようになることは世界の人々の願いです。患者さんにより良い薬を使っていただくためには、あらかじめ「治験」と呼ばれる臨床研究を行う必要があります。本院におきましても、各診療科の専門医が治験を行っており、多くの患者さんに創薬ボランティアとしてご協力いただいております。

本院では、治験推進に貢献した医師に治験実施貢献賞と特別賞の表彰を行っています。第3回目となる今回は、野口病院長より、消化器内科 清家正隆先生に「治験実施貢献賞」を、小児科（代表：泉達郎先生）に「特別賞」を贈呈し、表彰いたしました。

「治験実施貢献賞」を授与された清家正隆先生よりコメントをいただきましたのでご紹介します。

『治験貢献賞ありがとうございます。治験は新しい薬剤を患者さんに届けるための大事なステップです。病と向き合い、治験に参加して下さった患者さんに心より感謝しています。笑顔で多忙な業務をこなすCRCやスタッフにも感謝。医療は日進月歩で、治験薬でC型肝炎の患者さんが副作用もなく治癒

することに驚きました。治験では、数年先の医療の一端を垣間見ることができます。その視点を患者さんと共有し、診療していきたいと思っております。』

本院では、このようにいろいろな病気に対するより良い薬や医療機器に関する研究を日々行っております。ご協力いただきました患者さんには心より感謝申し上げます。今後、いっそうのご協力を頂ければ幸いです。よろしく願いいたします。

(文責：薬剤部 佐藤 雄己)



「産後お祝い膳」

本院では今年2月中旬より、かねてよりご要望いただいております「産後お祝い膳」をはじめました。出産後から退院までの水曜日もしくは土曜日の夕食にお出ししており、月に10名前後のオーダーをいただいています。

デザートと主食は、事前に栄養士がお伺いし数種類の中から選んでいただけるようにしています。お料理の内容は季節に応じて多少の変更はありますが、産後のお母さんへ『おめでとうございます』『お疲れ様でした』の気持ちをお伝えしようと、調理師が心をこめて準備しています。



(文責：管理栄養士 廣田 優子)



出産後のお母さんに出産のお祝いの意味をこめて医師・栄養士・調理師と一緒に話し合い、「産後お祝い膳」を完成させ今年2月より開始しました。ある経産婦のお母さんからは「以前、出産した時にはなかったの今回お祝い膳が出てとても嬉しかったです。ちゃんとおっぱいの事も考えられているメニューでご飯やデザートも選択できとても満足しています。美味しくいただきました。」という言葉が聞かれました。食事以外にも本院産婦人科では出産直後のお母さんと赤ちゃんの写真や赤ちゃんの足型などもお渡しして喜ばれています。

(文責：4階新病棟看護師 平井美知代)



あなたの声を待っています。良い病院になるために

患者さんの「声」は要約して載せておりますのでご了承願います。



声

付き添いの駐車場の割引は無くなったのですか？毎日の事なので、とても経済的に負担になっています。(食事介助が必要) (入院、女性)

回答

主治医・看護師長が必要と認めた場合に限り、付き添いの許可をしていますので、病棟にご相談下さい。長期付き添いの許可があれば駐車場の割引の対象になることもあります。

声

トイレは男性と共用で嫌です。どうかしてほしい。男子トイレがない。患者用と共同であり、面会者の男性とトイレではちあわせて嫌な感じでした。行ったら、便座は上がったままでマナーが悪い。キレイに流してもなかった。女性病棟なのにどうしてそのような配慮がないのか。しかも新しい病棟で、最初からそのような設計ではなかったのでしょうか。(入院、女性)

回答

不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。女性病棟ですが、ご家族等の男性の面会も多く、男女共用トイレを2箇所設置しています。2箇所のトイレのうち男女共用は1箇所のみにして、1箇所は女性専用にします。西病棟の改修が行われますと改善できるかと思いますが、しばらくは共用使用のご理解とご協力をいただければと思います。また、2人部屋のトイレ使用時にご不便なことがあれば、看護師に声をかけていただきたいと思います。

声

バス停にお年寄りが多く待っているのに「イス」の数が少ないので、増やしてください。

回答

早速、「イス」を2つ追加いたしました。ご意見ありがとうございました。

(文責：病院長 野口 隆之)

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

1号から57号までの「かけはし」は、医事相談窓口にありますので、遠慮なくお申し付け下さい。また、医学部附属病院ホームページからもご覧いただけます。

